

代替交通バスに関する 地区説明会

令和7年9月10日・12日
富士市都市計画課

- 1. 大北線代替交通実証運行**
- 2. 令和8年1月以降の代替交通（案）**
- 3. 今後の予定**

山梨交通株式会社バス路線廃止の経緯等

- ・富士川町との合併以降（H20～R5予算分）、旧富士川町のルールに基づき、山梨交通株式会社の運行する路線バス事業に対して欠損額の全てを補助してきたが、旧富士市では運行事業者に欠損額の全ては補助しておらず、ルールの不均衡が課題であった。
- ・補助ルール統一に向けて令和2年度から同社と協議し、令和4年度に合意した上で令和6年度予算分の補助からはルールを統一し、利用実態（乗車密度）を踏まえた補助を行うこととした。

		R2	R3	R4	R5	R6
大北線	欠損額	10,952千円	10,986千円	10,577千円	11,132千円	12,584千円
	補助額	9,712千円	9,741千円	9,379千円	9,871千円	5,579千円
	乗車密度	1.3	1.1	1.4	1.3	1.3
蒲原病院線	欠損額	21,597千円	16,543千円	16,978千円	22,759千円	32,285千円
	補助額	15,462千円	11,745千円	12,427千円	16,295千円	20,873千円
	乗車密度	2.3	2.2	1.8	2.4	1.8
	(伊ノ経由)	(2.4)	(2.0)	(1.9)	(1.8)	(2.0)
補助額合計		25,174千円	21,486千円	21,806千円	26,166千円	26,452千円

- ・令和7年1月の富士市公共交通協議会で、同年10月以降の大北線・蒲原病院線の路線維持確保を承認した中、突如として大北線を9月末で廃止する届出が3月に、蒲原病院線を12月末で廃止する届出が6月に、山梨交通から国へ提出された。

<代替交通の確保に向けた富士市の対応>

- ・4月に両路線の乗降調査を実施
- ・5月から6月初旬に運行地区アンケートを実施（結果を7月に地区回覧）
- ・国、県、沿線市の担当者と協議。庁内関係課、蒲原病院と情報共有
- ・9月に運行地区にて説明会（本日）を実施

1 - 1 大北線代替交通実証運行

- ✓ **富士市が主体**となり**路線バス**を運行
(業務委託先：富士急静岡バス株式会社)

- ✓ 令和7年10月1日から同年12月31日までの間
毎日運行

- ✓ 便数、運行ダイヤ、運賃(※)は**従前と同様**

※小学生または障害者手帳所持者は半額(10円未満切り上げ)、小学生未満は無料

※各回数券・乗り継ぎ割引券も使用可能

※R7.10～R7.12の期間に有効な山梨交通の定期券を有している場合、有効期間に限り市の運行する大北線代替交通についても自由に乗降できることとする。

- ✓ 運行ルートは、大北から**蒲原病院まで**

1 - 2 大北線代替交通実証運行（ダイヤ） ※従前と同様

令和7年10月から同年12月までの間

【凡例】 ☐ 「蒲原病院」行 ☐ 「大北」行

	停留所	1便※	2便※	3便	4便	5便	6便	7便※	8便※
①	大北	6:48	8:18	9:20	11:03	13:50	15:30	17:20	19:10
②	大北公民館	6:49	8:17	9:21	11:02	13:51	15:29	17:21	19:09
③	堀之内	6:50	8:16	9:22	11:01	13:52	15:28	17:22	19:08
④	北松野	6:51	8:15	9:23	11:00	13:53	15:27	17:23	19:07
⑤	清水	6:52	8:14	9:24	10:59	13:54	15:26	17:24	19:06
⑥	松野学園	6:53	8:13	9:25	10:58	13:55	15:25	17:25	19:05
⑦	原方	6:55	8:11	9:27	10:56	13:57	15:23	17:27	19:03
⑧	中野台公民館	6:57	8:09	9:29	10:54	13:59	15:21	17:29	19:01
⑨	富士松野公園入口	6:58	8:08	9:30	10:53	14:00	15:20	17:30	19:00
⑩	松野学園	7:01	8:05	9:33	10:50	14:03	15:17	17:33	18:57
⑪	松野局	7:02	8:04	9:34	10:49	14:04	15:16	17:34	18:56
⑫	南松野	7:03	8:03	9:35	10:48	14:05	15:15	17:35	18:55
⑬	根方	7:04	8:02	9:36	10:47	14:06	15:14	17:36	18:54
⑭	木島	7:06	8:00	9:38	10:45	14:08	15:12	17:38	18:52
⑮	小山北	7:07	7:59	9:39	10:44	14:09	15:11	17:39	18:51
⑯	小山	7:08	7:58	9:40	10:43	14:10	15:10	17:40	18:50
⑰	富士川楽座	7:09	7:57	9:41	10:42	14:11	15:09	17:41	18:49
⑱	湯沢橋	7:10	7:56	9:42	10:41	14:12	15:08	17:42	18:48
⑲	富士川橋	7:12	7:55	9:44	10:40	14:14	15:07	17:44	18:47
⑳	旭町	7:13	7:53	9:46	10:38	14:16	15:05	17:46	18:45
㉑	J A 富士川支店前	7:14	7:52	9:47	10:37	14:17	15:04	17:47	18:44
㉒	中之郷	7:15		9:48		14:18		17:48	
㉓	富士川駅	7:17	7:50	9:50	10:35	14:20	15:02	17:50	18:42
㉔	小池入口	7:18	7:48	9:52	10:33	14:22	15:00	17:52	18:40
㉕	幸町	7:19		9:53		14:23		17:53	
㉖	蒲原病院	7:20	7:46	9:54	10:31	14:24	14:58	17:54	18:38

※1便、2便、7便、8便は平日のみ運行。土日祝日運行休止

1 - 3 大北線代替交通実証運行（運賃） ※従前と同様

令和7年10月から同年12月までの間

（参考）山梨交通大北線の運賃表

大北										
190	北松野									
200	190	松野学園	中野台公民館							
270	210	190	根方		南松野					
370	310	270	200	木島						
430	380	340	280	190	小山					
510	450	410	350	250	190	富士川橋				
560	500	460	400	300	230	190	旭町			
590	540	500	430	340	270	190	190	富士川駅		中之郷
640	590	540	480	390	320	250	190	190	幸町	
640	590	540	480	390	320	250	190	190	190	蒲原病院

1 - 4 大北線代替交通実証運行（運行ルート：松野地区）



令和7年10月から同年12月までの間

1 - 5 大北線代替交通実証運行（運行ルート：富士川地区）



令和7年10月から同年12月までの間



1 - 6 大北線代替交通実証運行（運行ルート短縮）

運行ルートは、大北から**蒲原病院まで**とする。
（蒲原病院から蒲原中学校までの間は運行しない。）

- ・ 蒲原病院以南から静岡市域までの利用は極めて少ない。
（令和7年4月の乗降調査では、対象路線全体の利用のうち1.8%）
 - 静岡市域内乗降は一週間で1人
 - 静岡市域との往来は一週間で20人（一便当たり0.4人）
（うち富士市から静岡市域へ8人（一便当たり0.2人））

- ・ 蒲原病院以南の運行区間は
静岡市が自主運行バスを運行しており
代替可能（由比・蒲原病院線）

静岡市ウェブサイトより引用

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s3792/s001292.html>



令和7年度版 静岡市 自主運行 バス 由比・蒲原病院線

病院線ホームページ: <https://www.city.shizuoka.lg.jp/s3792/s001292.html>

運賃表	大人	小人(小学生未満)	小学生未満
地区内の移動 由比地区⇄蒲原地区	1回 200円	1回 100円	無料
地区をまたぐ移動 由比地区⇄蒲原地区	1回 300円	1回 150円	

※地区をまたぐ移動とは、蒲原地区の由比（由比・蒲原病院線）をまたぐ乗車です。
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の持所有者、手帳所持者を介助する方は運賃半額です。乗車区間、手帳を乗務員にご提示ください。
※定期券、回数券はありません。

※下りは新道を通ります。
※蒲原地区は、蒲原地区の由比（由比・蒲原病院線）をまたぐ乗車です。

※上りは新道を通ります。

毎日運行
※年末年始（12/29～1/3）は運休します。

予約不要

運賃前払い制

現金のみ取り扱い
※交通系ICカードなどは使えません。
※千円札は車内で両替できます。

2-1 令和8年1月以降の代替交通

基本方針

○生活移動の足を確保

生活のための様々な用途を踏まえてバス路線を確保し、特に学生の通学に配慮します。

○持続可能な運行体制で、効率的な運行サービスの提供

全国的な運転士不足の状況下において、利用実態に応じた効率的な運行内容とし、空のバスを走らせないように、無駄のない運行を図ります。

○現行路線の利用者への配慮

大北線、蒲原病院線の利用者に配慮し、引き続き交通系ICカード、各回数券等の利用を可能にすることで、利用促進を図ります。

○安全な利用環境の確保

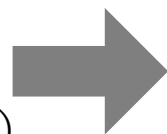
ノンステップバスの導入、安全運転教育の徹底により、誰もが安心して利用できる環境を整えます。

○地元意見の反映と情報発信の充実

地元からの意見を踏まえて路線改善やダイヤ調整を行い、運行情報を多様な手段で情報発信します。

2-2 バス運転士の不足を踏まえた一日当たり運行本数

【現行】 運転士平日 4 人、土日 2 人
大北線（平日4往復、土日2往復）
蒲原病院線（平日12.5往復、土日6往復）



【リニューアル路線】 運転士 1 人
平日最大8往復、土日最大4往復

全国的にバスの運転士不足は顕著で、
公共交通サービスを提供する上で深刻な問題

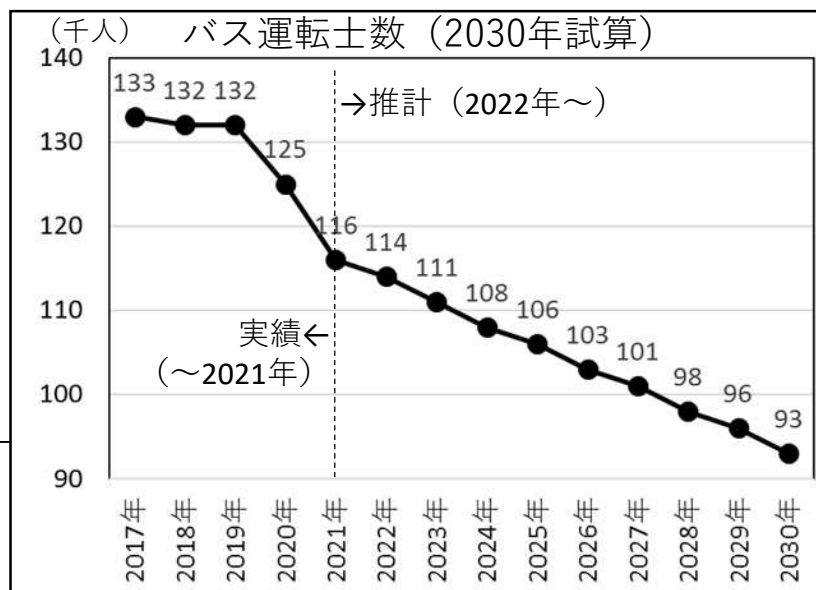
他の路線も維持する観点から、
同時に運転可能な**運転士の確保は1人**が限界
（たとえ運行経費を上乗せしたとしても、
同時に2人以上の人員確保は極めて困難）

改善基準告示

（自動車運転士の労働時間等の改善のための基準）

- ・バス運転士の**連続運転時間は4時間以内**
- ・運転開始後4時間以内に、**30分以上**運転を中断して、**休憩**等を確保
- ・1日の拘束時間は原則**13時間以内**

第58回国土幹線道路部会資料より引用



運転士 1 人で対応できるのは**一日最大 8 往復程度**（運転時間約 8 時間）
1 往復当たりの時間を 1 時間程度とする必要がある。

2-3 祝日、お盆、年末年始の運行必要性の検討

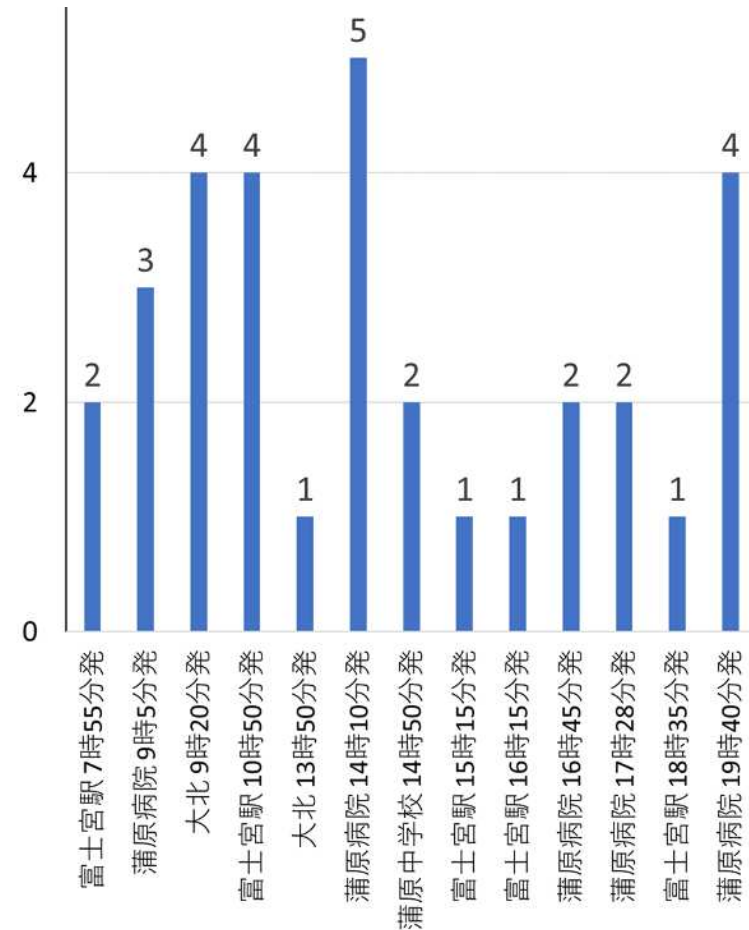
- ・ 今後、利用実態を見極めて、祝日等の運行必要性を総合的に検討

R7.4乗降調査
曜日別利用数（市内移動）

土	日	月	火	水	木	金
54	32	113	99	136	133	118

R7.4乗降調査の結果、日曜日の市内移動は32人で、曜日別で最も少ない。

R7.4.13（日）の時間帯別利用数（市内移動）



2-4 新たな運行経路イメージ（全体）

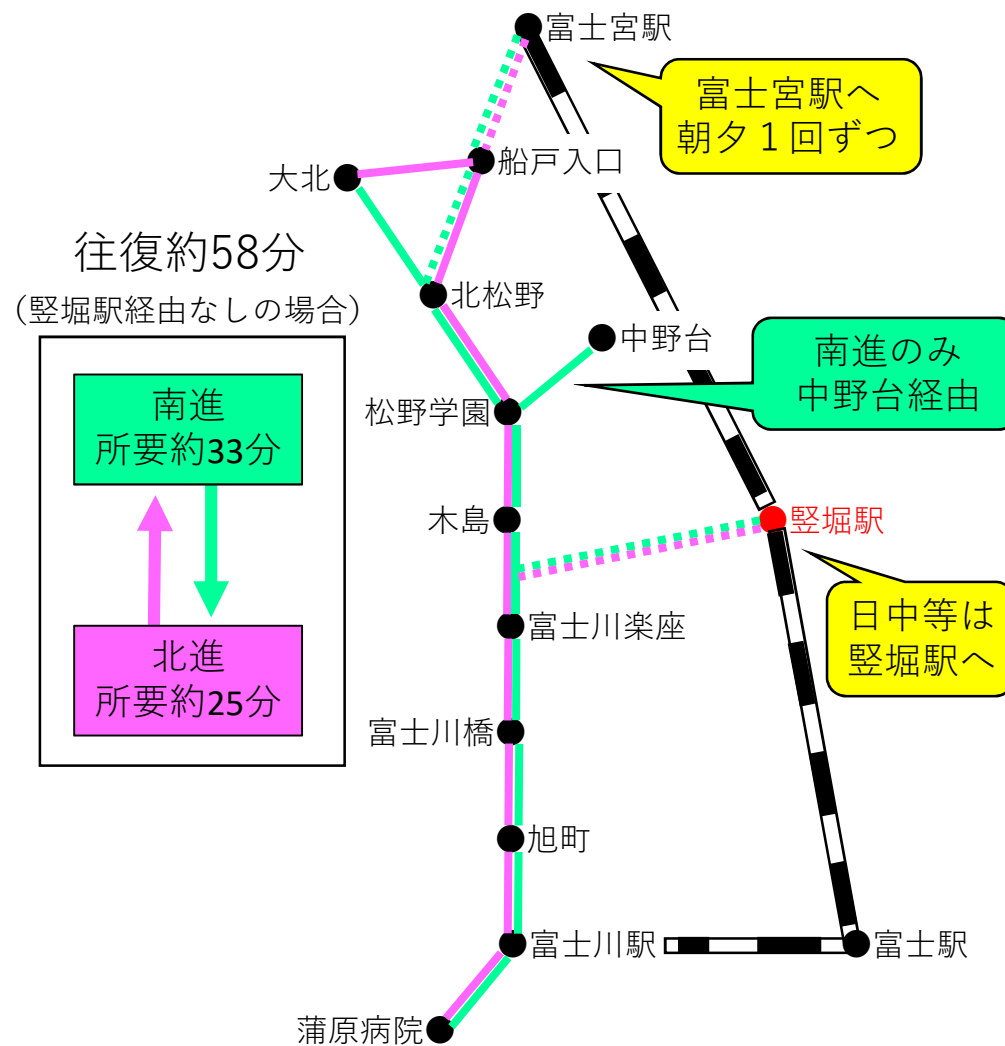
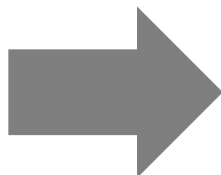
- ・ 蒲原病院で折り返し（静岡市域（蒲原病院以南）は、鉄道や静岡市運行バスで代替）
- ・ 中野台経由の効率化（南進ルートのみ経由、乗降調査で中野台乗車は全て南進目的）



大北線
往復約1時間20分

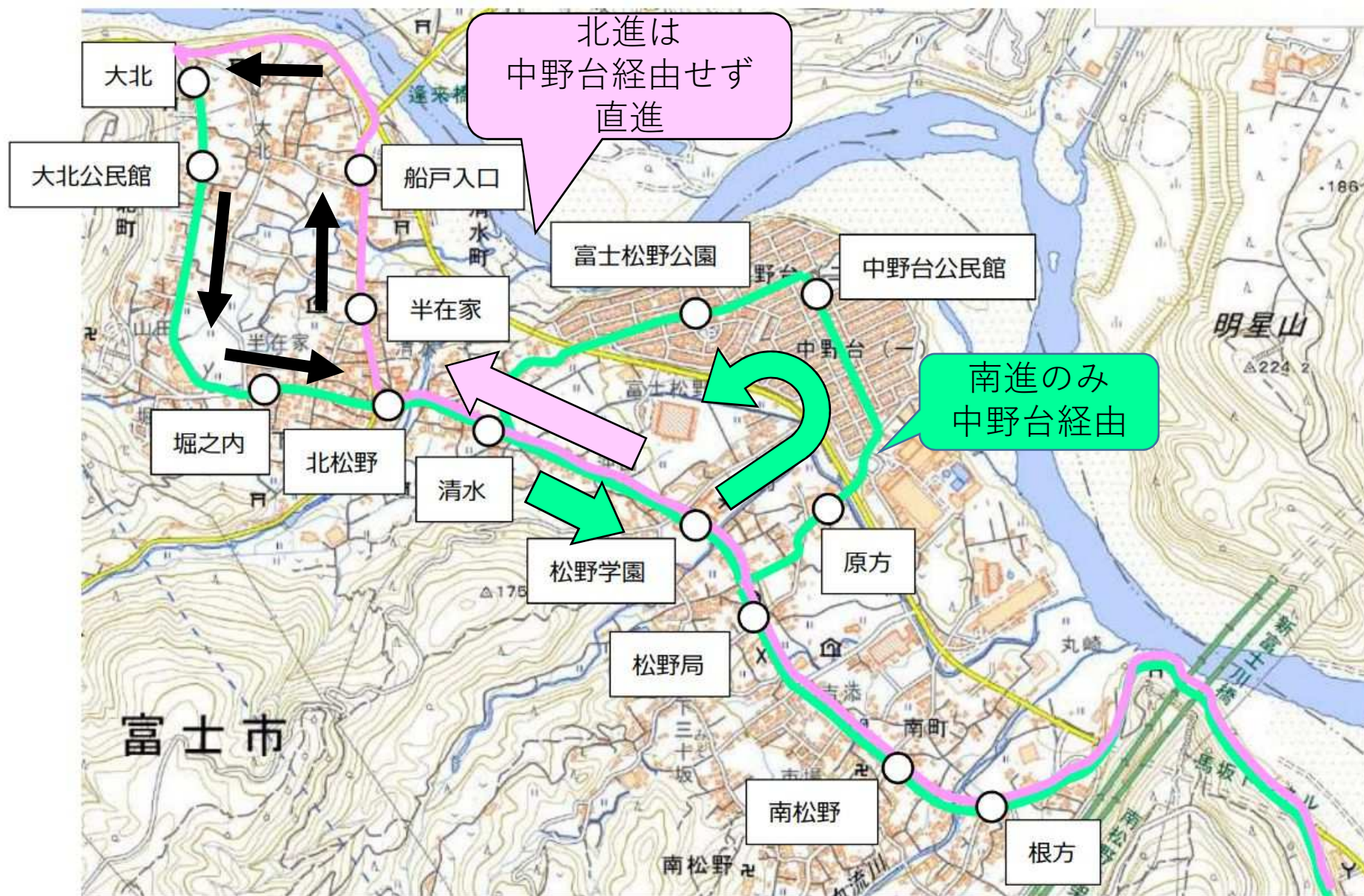
蒲原病院線
往復約1時間33分

～令和7年12月



令和8年1月～

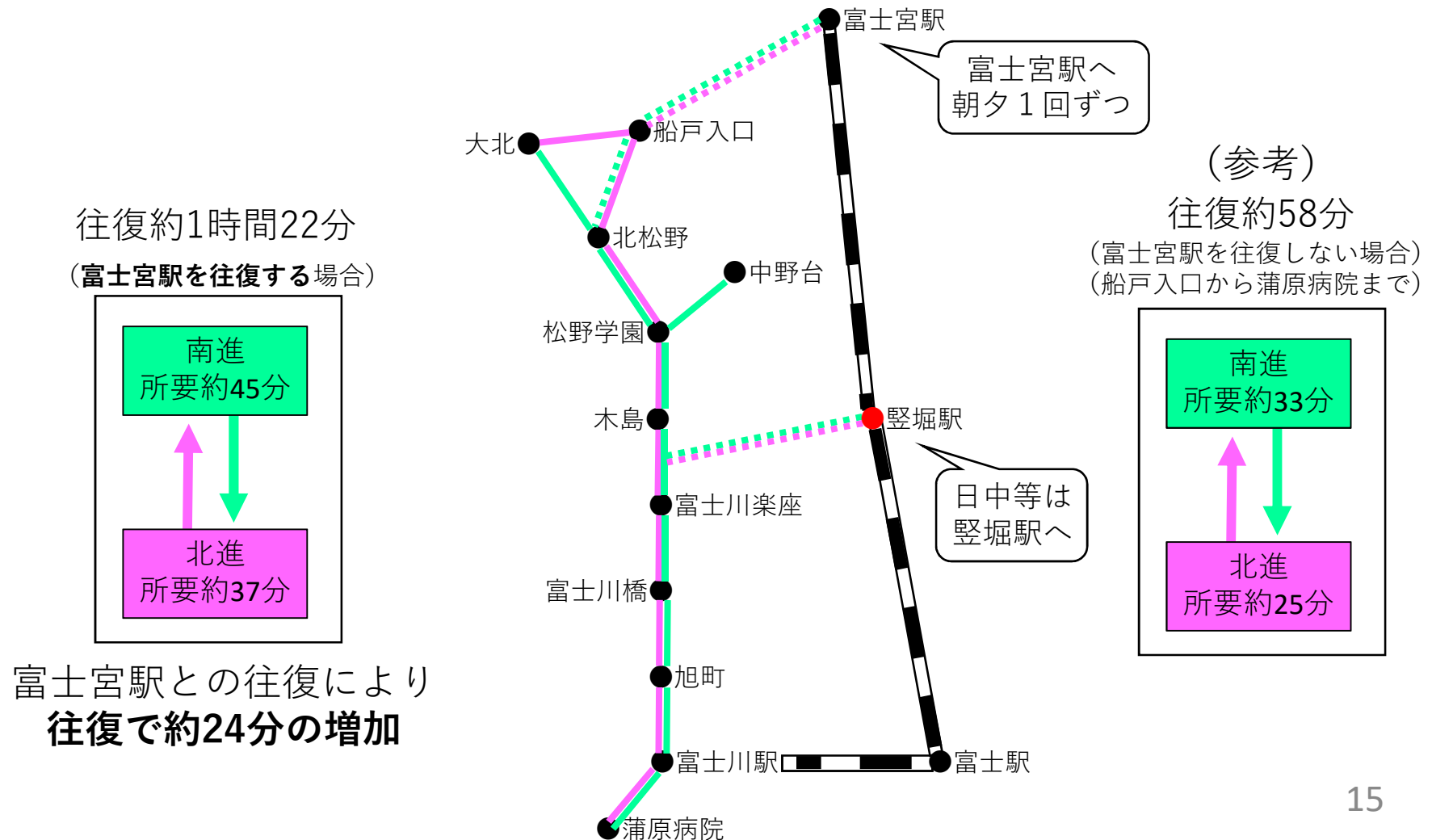
2-5 新たな運行経路イメージ（松野地区）



令和8年1月以降

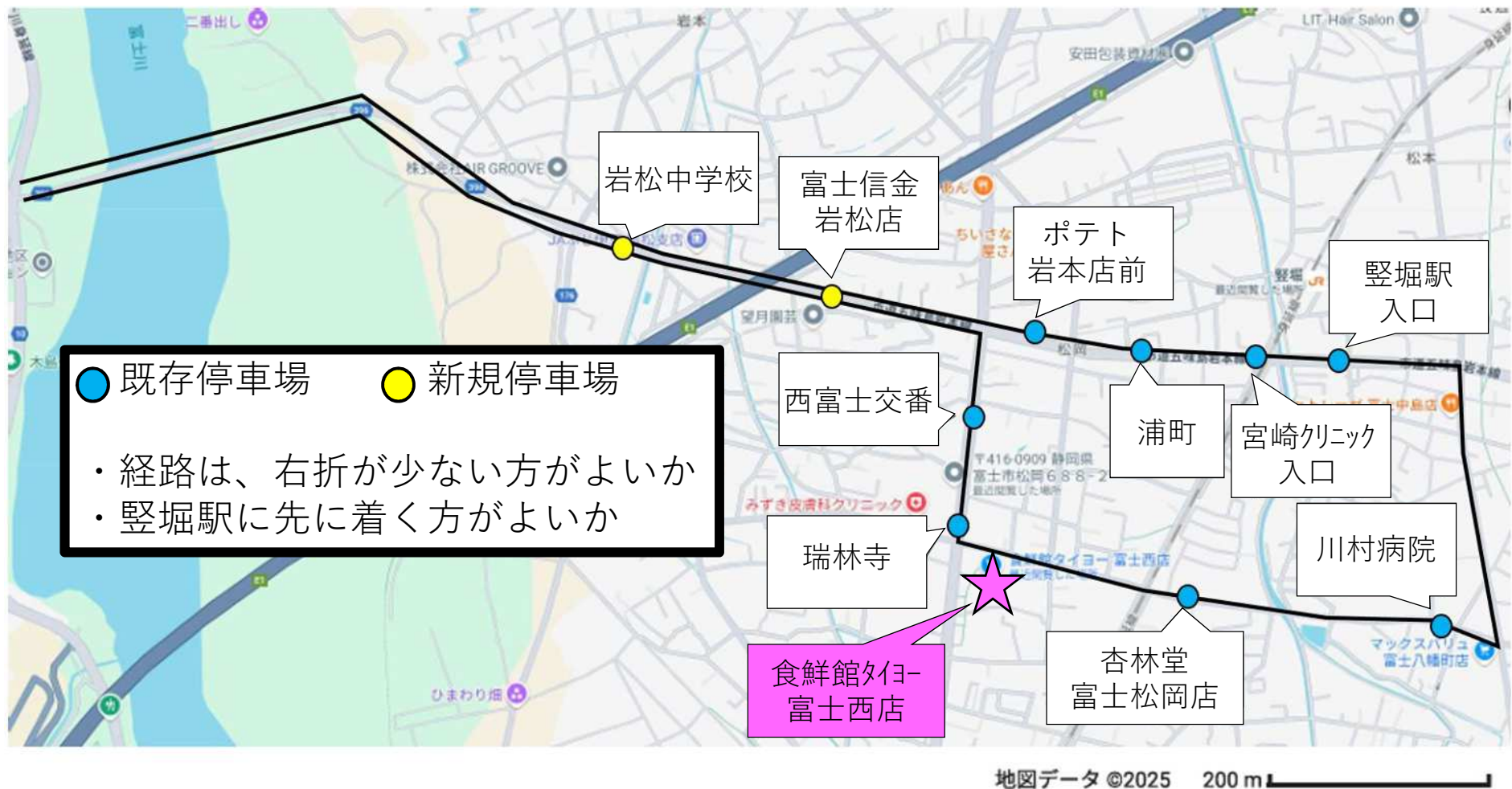
2-6 通学のための富士宮市域運行

- ・ 通学のため、富士宮駅まで運行してほしいというアンケート回答が複数確認された。
- ・ 富士宮駅に駐車場を設置、朝と夕方、それぞれ1回ずつ富士宮駅と富士市域を往復
(富士宮市域の駐車場は富士宮駅のみ)
- ・ 日中等は、富士川かりがね橋を経由して豎堀駅まで行き、折り返し



2-7 富士川かりがね橋を渡るルートを検討

- ・ 富士川かりがね橋を活用して富士川東西ルートを要望するアンケート回答があった。
- ・ 日中、富士川かりがね橋を経由して豎堀駅へタッチして、折り返し



2-8 富士川かりがね橋を渡るルートを導入する際の視点

長所

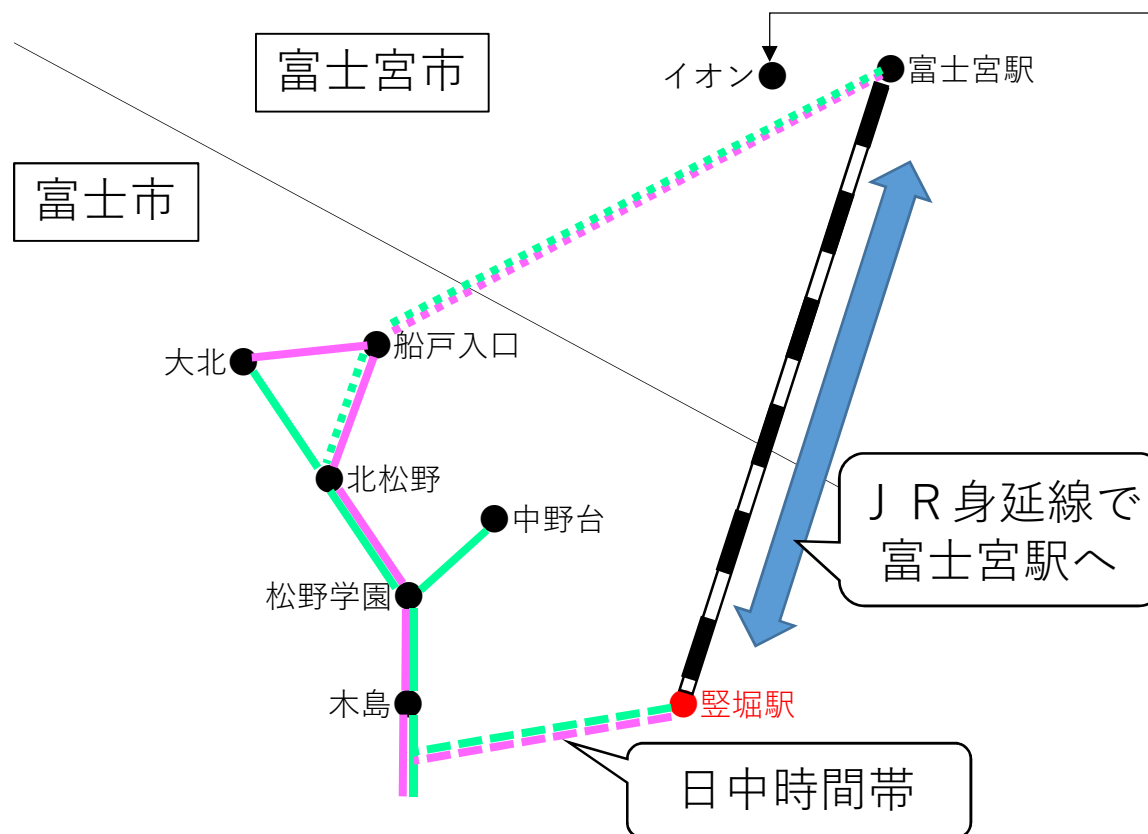
- J R 身延線「豎堀駅」で、電車への乗継が可能
 - ＞富士宮の高校の変則的な下校時間に対応可能（午前終了時の帰途など）
- A I オンデマンドバス「のるーとひまわり」と接続可能
 - ＞宮崎クリニック入口、川村病院、杏林堂富士松岡店、西富士交番
- 岩松北地区コミュニティバス「こうめ」と接続可能
 - ＞ポテト岩本店前、浦町、宮崎クリニック入口、豎堀駅入口、川村病院、瑞林寺、西富士交番
- 買い物拠点や病院などの行き先が充実

短所

- × ルート延伸による移動時間の増加、運行本数の減少
 - ＞木島交差点までの往復で約20分の増加（全ルートの往復で約1時間38分）

2-9 その他用途での富士宮市域との往来（松野地区）

- ・イオン富士宮へのバス利用は、富士宮市域内が多い。
- ・令和8年1月以降もバスや電車を乗り継いで、イオン富士宮へ行くことは可能
（朝夕の富士宮駅直行便、日中等はバスで豎堀駅からＪＲ身延線で富士宮駅へ）
- ・松野地区には買い物拠点が複数存在（スーパーマーケット、薬局など）



（参考）松野地区の自主事業「高齢者移送事業（松野そよ風）」
富士市役所、富士川駅、富士川まちセン、
蒲原病院、富士市立中央病院、富士宮市立病院

一週間のイオン降車利用客
（R7.4乗降調査より）

※調査期間中
利用者は
合計1,182人

乗車場所	人数
富士宮市内	77人
松野地区	61人
富士川地区	5人
合計	143人

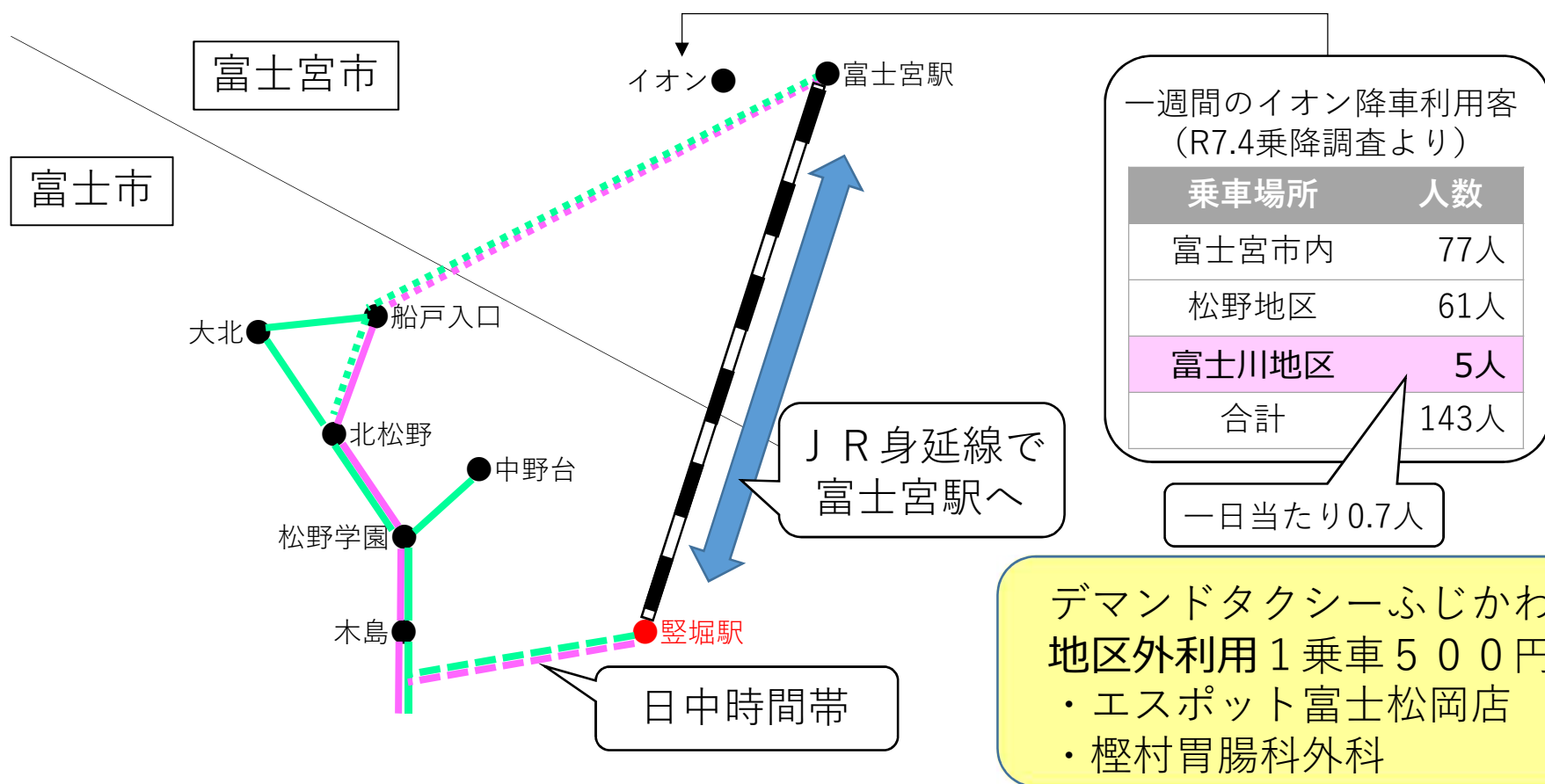
全体の
約5%
一日当たり
8.7人

松野地区からの乗車の便

蒲原病院 6時41分発	7	船戸入口	15
蒲原病院 8時46分発	3	半在家	20
蒲原病院 9時05分発	12	北松野	11
蒲原病院 9時45分発	3	清水	1
蒲原病院 11時00分発	4	松野学園	6
蒲原病院 12時03分発	5	松野局	4
蒲原病院 13時05分発	7	南松野	3
蒲原病院 14時10分発	4	根方	1
蒲原病院 15時45分発	9		
蒲原病院 16時45分発	6		
蒲原病院 17時28分発	1		

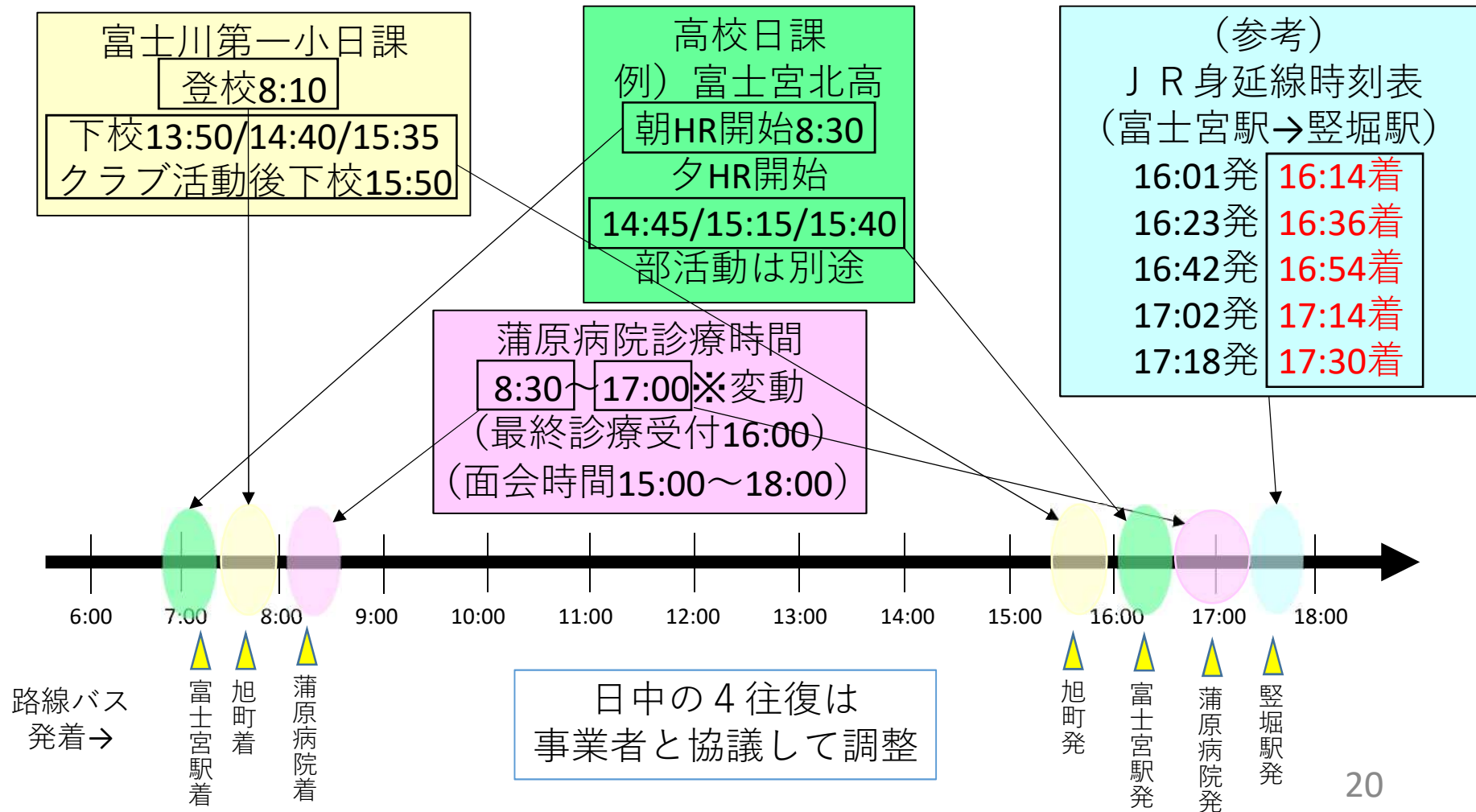
2-9 その他用途での富士宮市域との往来（富士川地区）

- ・イオン富士宮へのバス利用は、富士宮市域内が多い。
- ・令和8年1月以降もバスや電車を乗り継いで、イオン富士宮へ行くことは可能
（朝夕の富士宮駅直行便、日中等はバスで豎堀駅からＪＲ身延線で富士宮駅へ）
- ・富士川地区のデマンドタクシーふじかわは、地区外の買い物拠点へ移動可能（例外）



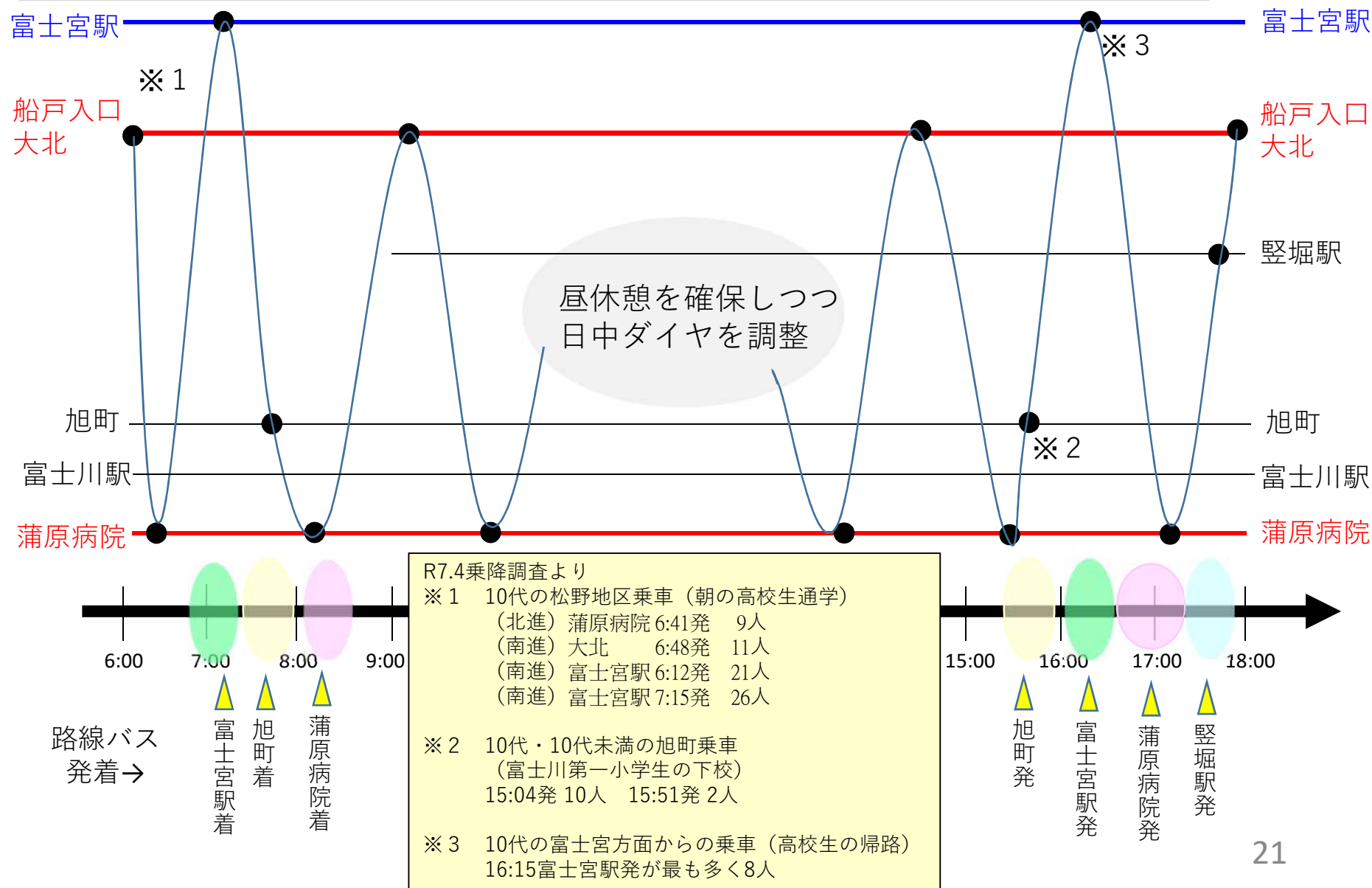
2-10 運行ダイヤの考え方（通院・通学等への配慮）

- ・ R7.4乗降調査において、朝夕の通勤・通学・通院の時間帯に利用が多く確認された。
- ・ 朝の時間帯（7時00分から8時30分）の乗車機会を増やし、通勤・通学に配慮
- ・ これまでの利用実績を踏まえて、夜間（18時以降）は減便



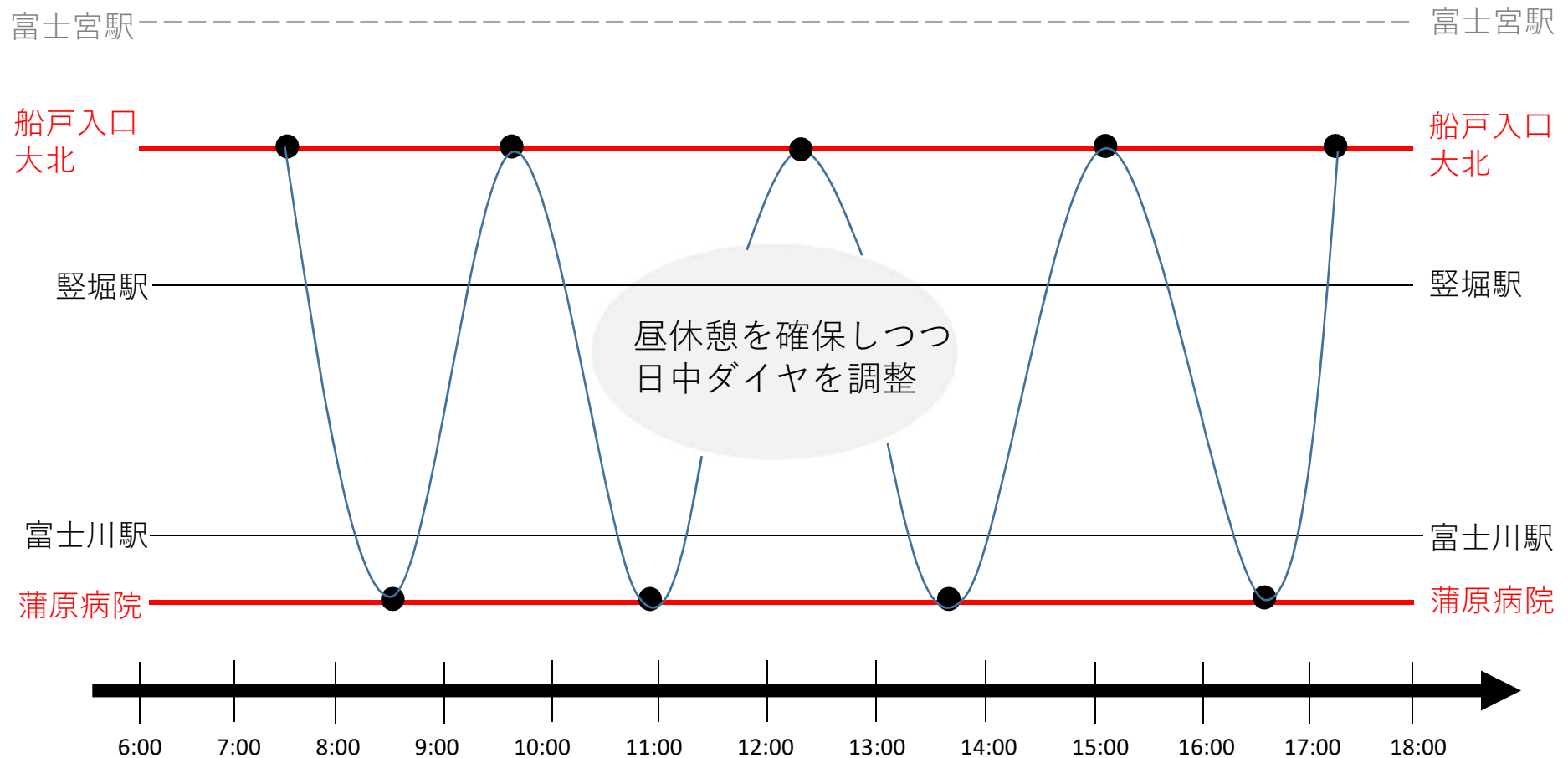
2-1 1 【平日】運行ダイヤの考え方（通学・通院等への配慮）

ドライバー 1 人工の稼働に配慮しつつ、必要な拠点を経由するダイヤを検討



2-1 2 【土日】運行ダイヤの考え方

- ・ 利用実態を鑑み、**土日は最大4往復**の運行ダイヤを検討
- ・ 土日は富士宮駅への直行便を設けず、日中に寄せて市内運行の日中ダイヤを充実



2-13 令和8年1月以降の代替交通（案）

- ✓ **富士市が主体**となり実証運行
- ✓ **平日・土日の運行**
（祝日、お盆、年末年始は運休）
- ✓ 大北線と蒲原病院線を合わせた**リニューアル路線**
- ✓ 便数、運行ルート、ダイヤ、運賃は
従前の運行内容を踏まえて新たに設定
- ✓ 定期券の代わりに**フリーパスの導入**を検討

2-15 従前との変更点（案）

項目	令和8年1月以降	従前（令和7年12月まで）
運行 本数	平日最大8往復、土日最大4往復	大北線：平日4往復、土日祝日2往復 蒲原病院線：平日12.5往復、土日祝日8往復
運行日	平日、土日に運行 ※祝日、お盆、年末年始は運休	運休なし（毎日運行）
運行 ルート	通学のための富士宮市域運行 ＞富士宮市域は富士宮駅のみ停留所を設置 ＞朝夕1回ずつ、富士市域と富士宮駅を往復	
	中野台は大北からの南進ルートのみ停車 （北進ルートは中野台経由しない。）	
	日中等は、富士川かりがね橋を經由し 豎堀駅等にタッチして折り返し	

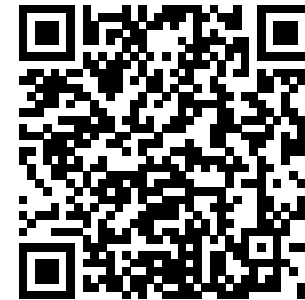
3-1 今後の予定

時期	内容
令和7年 9月	地区説明会（富士川地区・松野地区）
令和7年 9月中旬 ～10月中旬	アンケート実施
令和7年10月	大北線代替交通（路線バス）の実証運行開始
令和7年10月	乗降調査（大北線代替・蒲原病院線）
令和7年11月	富士市議会定例会に予算上程
令和7年11月末	運行事業者が国へ運行許可申請
令和7年12月	地区等への周知（回覧など）
令和8年 1月	リニューアルバス路線実証運行開始

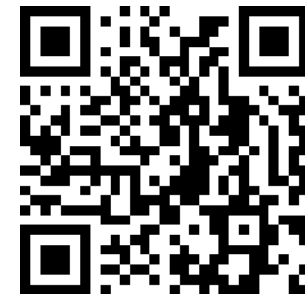
実証運行を行う中で、利用実態に応じて、
適宜必要な見直しを行います。

ご清聴ありがとうございました

本日の資料はこちらから →



ご意見ご要望はこちらから →



※スマートフォン等からの回答が
難しい場合は、都市計画課まで
ご連絡ください。

**富士市 都市整備部 都市計画課
公共交通推進担当**

TEL : 0545-55-2904

E-mail : toshikei@div.city.fuji.shizuoka.jp